渡航に関する外来診療について

～埼玉医科大学病院 感染症科・感染制御科では渡航に関する外来診療を行っております～

診療内容

・渡航前の**ワクチン接種**(自費)
・渡航前の**マラリア、高山病の予防薬等の処方**(自費。薬代とは別に処方料等がかかります)
・ウィルス抗体価などの**感染症検査**(無症状の場合：自費)
・各種**診断書**の発行(自費)
・**帰国後の体調不良**への対応(通常の感染症診療として、保険診療で対応可能)
・その他、相談等

2500m以上の高地へ行かれる方は、**高山病にご注意ください(予防薬あり)。**

蚊によって、様々な感染症に罹患する場合があります。**マラリアは予防薬がありますが、蚊に刺されない事が大切です。肌の露出は避け、虫除け＊を持参**しましょう。
＊DEET30%以上もしくはイカリジン15%以上含有する製品

受診方法

・受付時間内に、**初診受付で受付**をお願いいたします。(通常の感染症外来と同様です。)
渡航に関する事前情報があるとスムーズですので、可能であれば事前にお電話をお願い致します。
・**帰国後の体調不良の方は必ず事前にお電話**をお願いいたします。
・紹介状をお持ちの方は**電話予約**も可能です。
・受診時はなるべく**母子手帳等のワクチン接種歴がわかる物**をお持ちください。
・**渡航先、渡航期間等**に応じて必要なワクチン、予防内服等をご提案させていただきます。
・ワクチンは**取り寄せに時間を要する場合があります(初診時に接種することは出来ません)。**
また、**複数回接種**する必要があるワクチンもございます。必ず、**日程に余裕を持ってご来院ください。**

連絡先：感染症科外来
049-276-2034

～予防接種について～

旅行先でみられる感染症に合わせた予防接種を受けましょう（下記一覧表や「役に立つホームページ」リンクをご参照ください）。詳しくは、担当医にご相談ください。

1. 国内承認ワクチン

	感染経路	主なリスク地域	特に推奨される方
黄熱	蚊媒介	アフリカ、南米	リスク国や入国時接種義務のある国への渡航 ＊国により入国時に接種証明書が必要な場合あり。**検疫所等で接種可能**：接種機関は「役に立つホームページ」のリンク参照
A型肝炎	経口・糞口	途上国全域	衛生状態の悪い地域への渡航
B型肝炎	血液・性行為	世界中	途上国に長期間滞在する場合、血液に接触する可能性のある場合
破傷風	外傷	世界中	外傷のリスクがある場合(冒険旅行等)
狂犬病	動物咬傷	途上国全域	リスク国での暴露後接種が困難な場合、犬・狐・コウモリなどの多い地域への渡航
日本脳炎	蚊媒介	アジア	アジアの郊外への渡航(特に豚を飼育している農村)
髄膜炎菌(A,C,W,Y群)	飛沫	アフリカ、欧米	アフリカのリスク地域(“特に髄膜炎ベルト”)、メッカ巡礼への渡航者、欧米諸国の大学生活や寮生活者
ポリオ	経口	アフリカ、南アジア	ポリオのリスク国への渡航
ダニ媒介脳炎	ダニ媒介	東ヨーロッパ、ロシア	リスク国への渡航
腸チフス	経口、糞口	アジア、アフリカ、中南米など	アジアなどの衛生水準が低い地域への渡航 ＊腸チフスのワクチンには、パラチフスの予防効果はありません

2. 国内未承認ワクチン(主なもの)

●**Tdap**：日本のDPT(3種混合)ワクチンと同じで、破傷風(T)、ジフテリア(D)、百日咳(P)のワクチンですが、10歳以上の人へのブースター接種用のワクチンで、一部の抗原の量を減らしてあります。定期接種している国への渡航の場合に推奨されます。

●**髄膜炎菌(B群)**：日本承認済の4価結合型髄膜炎菌ワクチンではカバーできないB群髄膜炎菌のワクチンです。定期接種している国への渡航の場合は特に推奨されます。留学時に接種が求められる場合もあります。

●**コレラ**：高リスク地域への渡航、基礎疾患のある方で推奨されます。

渡航に関する外来診療について

～役に立つホームページ集～

①厚生労働省検疫所　FORTH

http://www.forth.go.jp
海外の感染症の最新の流行状況や予防方法などの情報が掲載されています。
渡航先の感染症流行情報・医療の質などを必ずご確認下さい。

②国立国際医療研究センター病院お役立ち資料集

https://travelclinic.ncgm.go.jp/021/index.html
ワクチンに関する資料、マラリア予防に関する資料が掲載されています。

③外務省在外公館医務官情報

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html
現地の医務官自身が収集した情報が掲載されています。

④外務省　海外安全ホームページ

https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html
国・地域別の海外安全情報、感染症危険情報などが掲載されています。現地の治安もご確認ください！

⑤Traveler's Health（CDC）

http://www.cdc.gov/travel
アメリカの疾病対策予防センターのページです。英語のサイトになります。
国別の感染症情報などが掲載されています。

⑥黄熱ワクチン接種機関一覧

https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/yellow_fever_certificate.html
黄熱ワクチンは検疫所や一部の医療機関のみでしか接種が出来ませんので、上記ホームページをご確認ください。

2026年10月作成

～当院で接種可能な予防接種～

掲載の無いワクチンは別途ご相談ください

	1回あたりの値段		1回あたりの値段
A型肝炎	20350円	2種混合(ジフテリア・破傷風)	8800円
B型肝炎	8800円	4種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	13750円
狂犬病	19800円		
日本脳炎	9900円	5種混合(4種＋インフルエンザ菌B型)	23650円
髄膜炎菌	19943円	破傷風トキソイド	1063円
帯状疱疹(シングリックス®)	25850円	RSウイルス(60歳以上)	30250円
麻疹・風疹(MR)	13200円	インフルエンザ菌B型(Hib)	6050円
肺炎球菌(PPSV23)	11550円	ポリオ	12650円
肺炎球菌(PCV21)	17050円	腸チフス	12100円
肺炎球菌(PCV20)	14850円	おたふくかぜ	9350円

- **ワクチンの値段は変更になる場合がございます**。ワクチン代金の他に、初・再診料等がかかります。表に記載のワクチンでも**流通状況によっては接種できない場合**がございます。スケジュールや回数は担当医にご確認ください。
- **ワクチンによっては複数回の接種が必要**です。**小児期のワクチン接種状況によって、回数が異なる場合**がございます。
- 当院では**輸入ワクチン・黄熱ワクチンの取り扱いはございません**。国内承認済みのワクチンで対応出来ない場合は、接種可能な医療機関をご紹介させていただきます。黄熱ワクチンについては「役に立つホームページ」のリンクをご参照ください。
- **マラリア予防内服**などにも対応しておりますのでご相談ください。

常用薬・常備薬(痛み止め、解熱薬、咳止め、風邪薬など)も忘れずに持参しましょう。
十分加熱されていない肉や魚、生野菜、カットフルーツ、生ジュース、未殺菌の乳製品、水道水、氷等は下痢のリスクが高いと言われています。**下痢をしたら水分摂取を心がけましょう。**